

Index

- Section **01** 2026年3月期（2025年度）通期業績予想ハイライト
- Section **02** 2026年3月期 第2四半期 決算概要（2025年度中間期実績）
- Section **03** 2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）
- Section **04** トピックス（環境対応型製品）
- Section **05** 2026年3月期 第2四半期 決算補足

Index

Section **01** 2026年3月期（2025年度）通期業績予想ハイライト

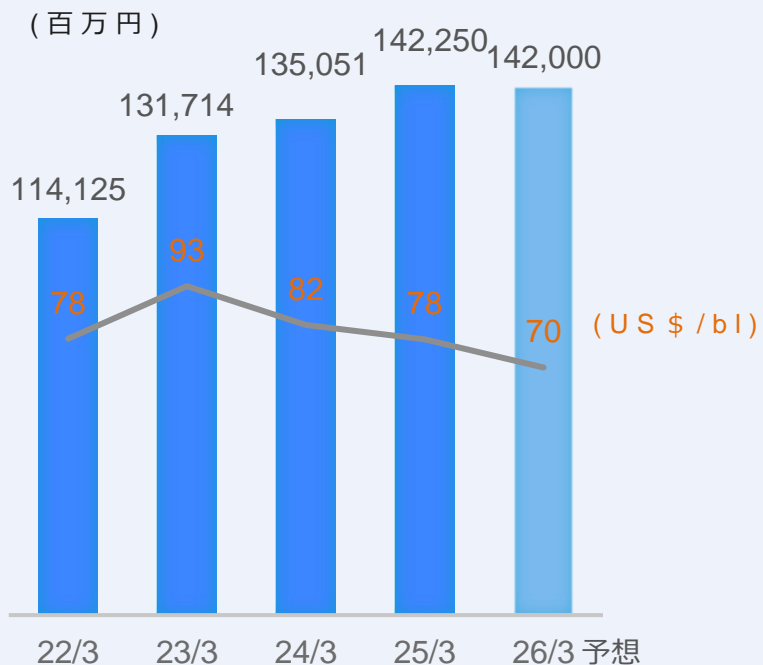
Section **02** 2026年3月期 第2四半期 決算概要（2025年度中間期実績）

Section **03** 2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）

Section **04** トピックス（環境対応型製品）

Section **05** 2026年3月期 第2四半期 決算補足

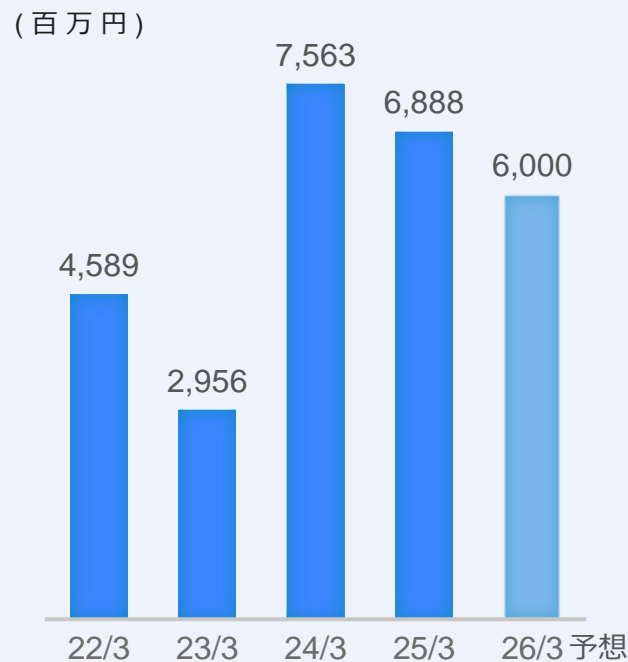
売上高



押出事業、ビーズ事業共に売上高は前期並みを見込む

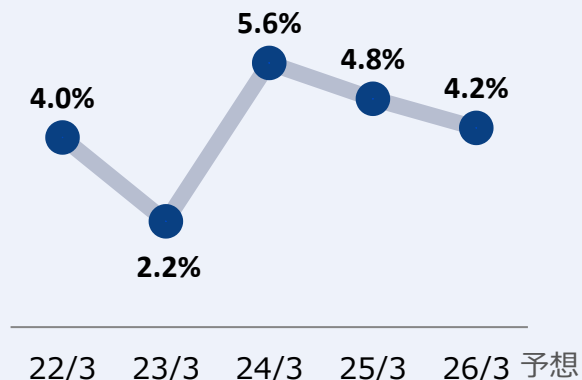
赤字はドバイ原油価格

営業利益



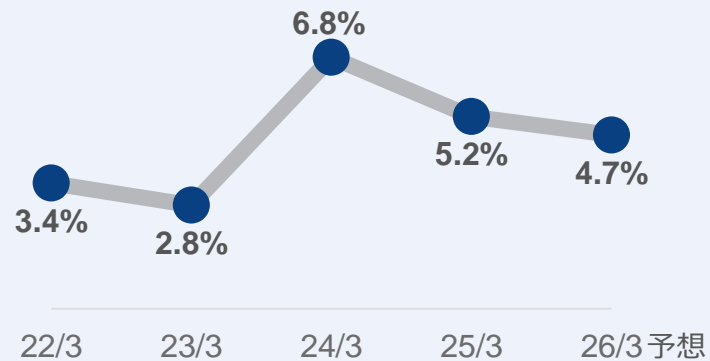
当期は、北米における関税政策の適用などに伴う需要変動の影響が大きく減益

営業利益率



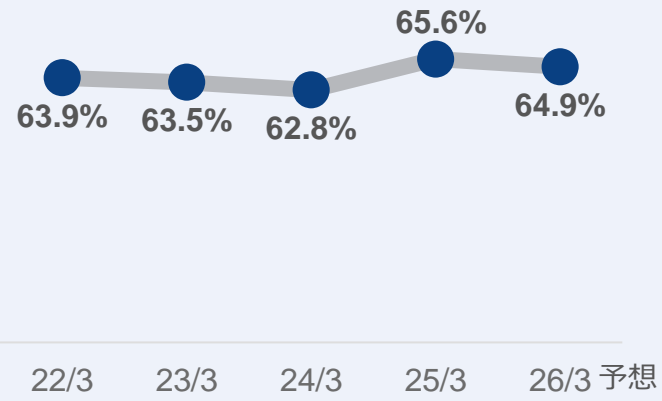
人件費、生産設備維持費用等の固定費の上昇の影響もあり低下

自己資本利益率（ROE）



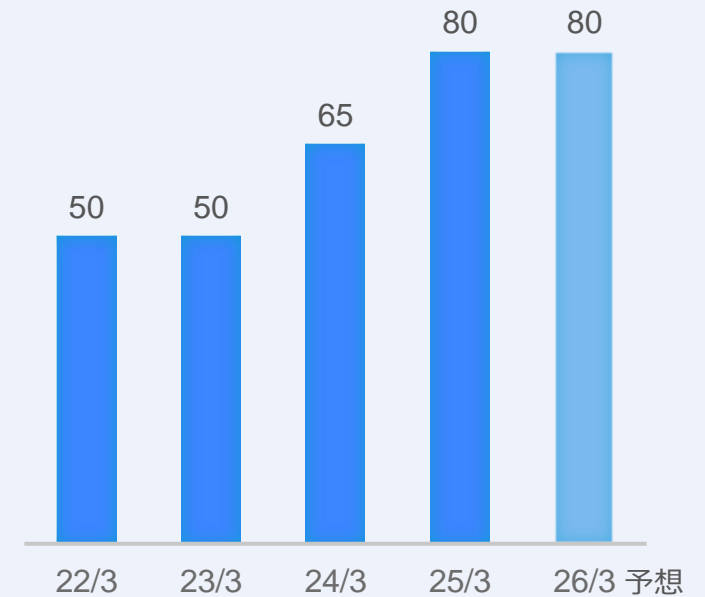
営業利益の減少により、ROEは4.7%を見込む

自己資本比率



設備投資等に向けた有利子負債の増加により、自己資本比率は減少。適正な資本構成に向けた財務運営を引き続き検討

配当金（円/株）



2025年度当初想定の年間80円/株の配当を予想

Index

- Section **01** 2026年3月期（2025年度）通期業績予想ハイライト
- Section **02** 2026年3月期 第2四半期 決算概要（2025年度中間期実績）
- Section **03** 2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）
- Section **04** トピックス（環境対応型製品）
- Section **05** 2026年3月期 第2四半期 決算補足

(単位：百万円)

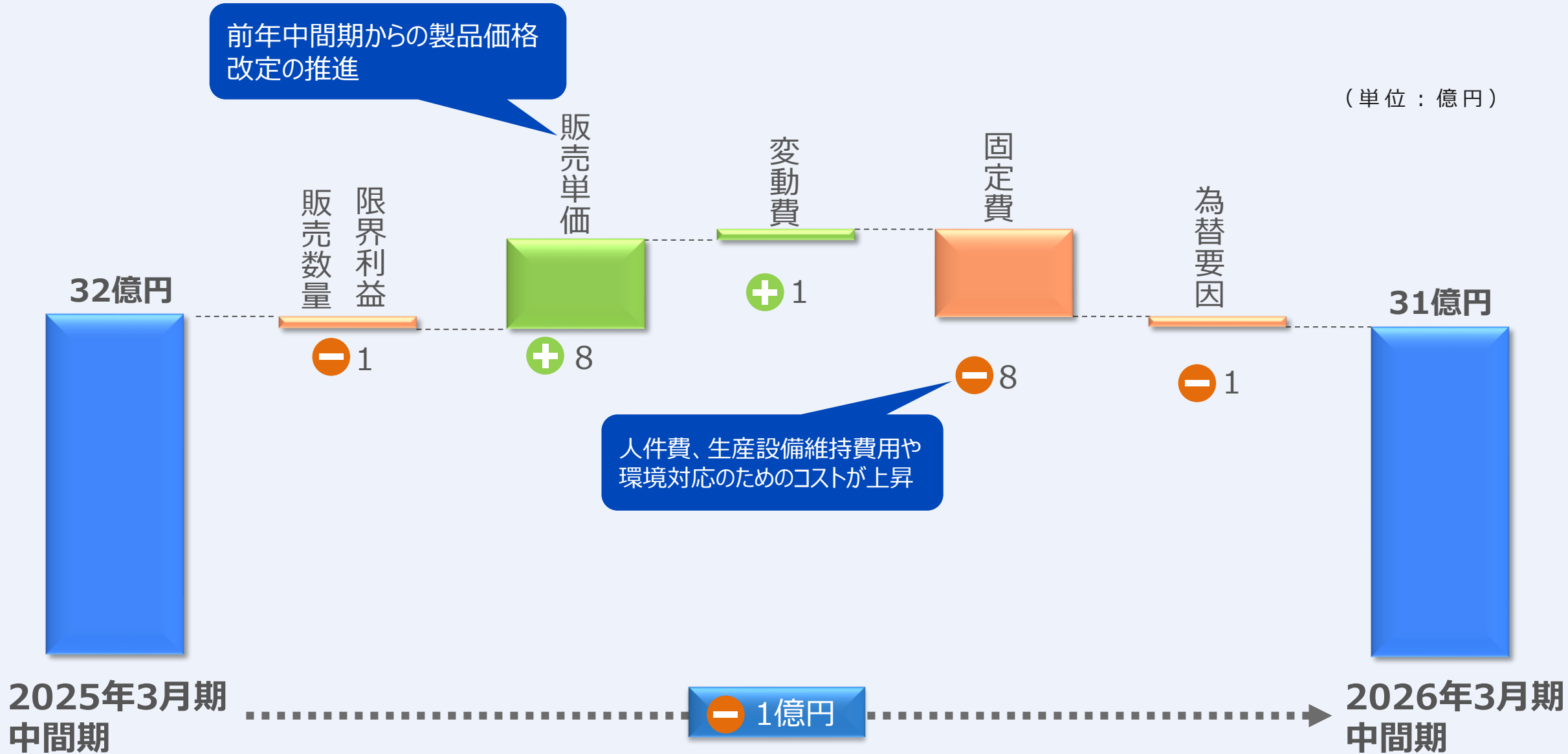
	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期公表(7/31)	2026年3月期 中間期実績	前年同期比		公表比	
売上高	71,388	71,000	70,307	⊖	1.5%	⊖	1.0%
営業利益	3,204	3,000	3,076	⊖	4.0%	⊕	2.5%
経常利益	3,544	3,200	3,240	⊖	8.6%	⊕	1.3%
親会社株主に帰属 する中間純利益	2,576	2,700	2,860	⊕	11.0%	⊕	5.9%
1株当たりの配当金	40円 (中間)	40円 (中間)	40円 (中間)	-	-	-	-

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
ドバイ原油 (USD/BL)	82	69
円/USD	154.1	147.4
円/EUR	166.1	162.2

- 世界経済：北米の通商政策動向及び、ウクライナ情勢の長期化などにより先行き不透明な状況
- 日本経済：物価上昇や金融資本市場の変動が継続し、北米の通商政策の影響により企業業績や雇用・所得環境が改善に足踏みがみられるものの、緩やかな回復基調
- 国内業界：食品トレー向け分野での需要は減少傾向となり、水産・農業分野向けでは販売需要回復の足踏み状態が継続し、物価上昇による影響もあり厳しい状況
- 売上高：販売は前年同期並みとなりましたが、売上高は前年同期比1.5%の減少
- 営業利益は、人件費高騰などにより前年同期比4.0%の減少

営業利益の増減要因（中間期比較）

（単位：億円）



押出事業（2026年3月期中間期実績）

（単位：百万円）

	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	前年同期比
売上高	23,934	24,411	+ 2.0%
営業利益	805	869	+ 8.0%

●販売は減少も、一般包材及び建築・住宅分野向けの付加価値の高い製品が好調に推移したことにより売上が増加し、営業利益も増加しました

食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

●食品トレイ向け分野の販売は減少し、広告宣伝用ディスプレイ材「ミラボード」の販売も減少したことから売上は減少

産業用包装材



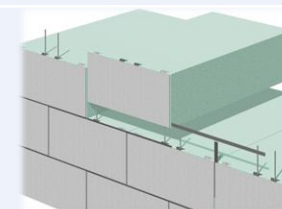
「ミラマット®」
「キャプロン®」
「Pボード」

●付加価値の高い製品及び汎用製品の販売は減少しましたが、一般包材が好調に推移したことから売上は増加

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

●建築・住宅分野向けのミラフォーム®ラムダやプレカット品などの付加価値の高い製品の販売は前年同期並みとなりましたが、土木分野向けの販売は増加したことから売上は増加

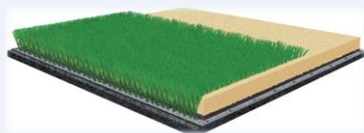
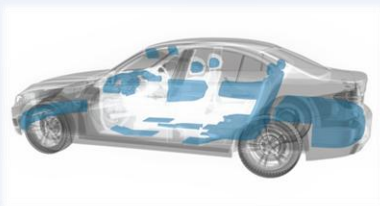
ビーズ事業（2026年3月期中間期 実績）

（単位：百万円）

	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期実績	前年同期比
売上高	47,454	45,896	⊖ 3.3%
営業利益	2,960	2,656	⊖ 10.3%

- 非自動車分野の販売は増加しましたが、自動車分野の販売は需要の影響により減少したことから、売上は減少
- 利益面では、固定費削減に努めたものの、人件費高騰の影響などにより減益
- ARPRO®は、非自動車分野が好調に推移

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ARPRO®」
「エレンポール® NEO」
「COREDUAL®」

- 北米では、競技用グラウンド基礎緩衝材などの一部の非自動車分野が増加も、自動車分野では需要の影響により減少
- 欧州は、自動車分野およびHVAC向けは需要の影響により減少
- 中国及び台湾では、包装材分野が増加

発泡性ポリスチレン



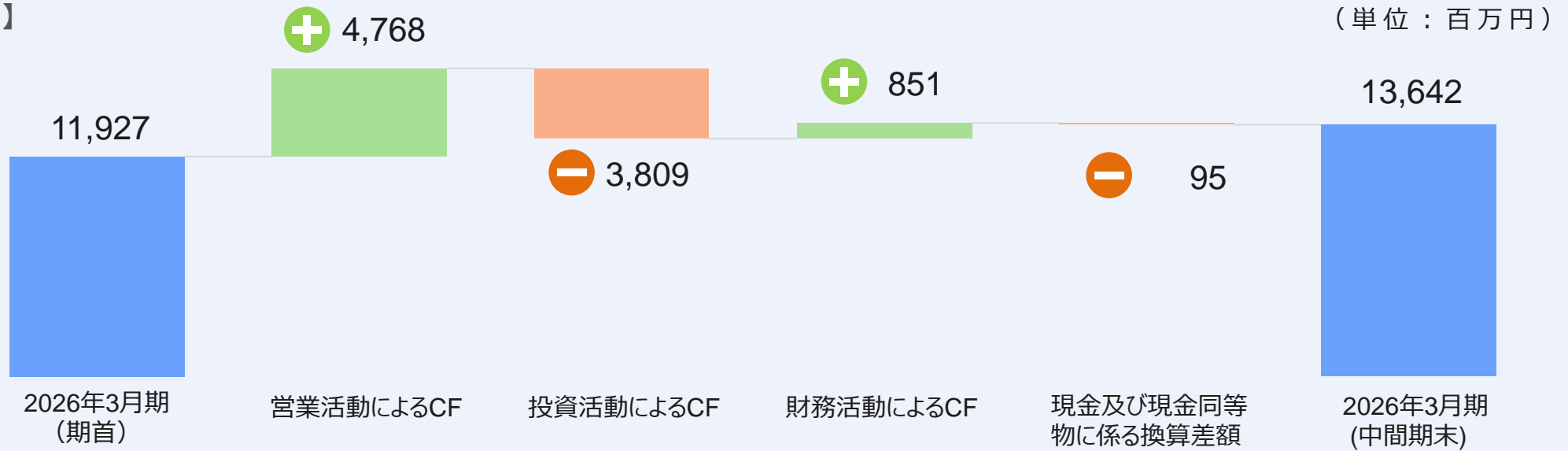
「スチロダイア®」
「ヒートポール® GR」
「クリアポール®」

- 水産・農業分野などでの需要の影響により販売が減少したことから売上は減少

キャッシュフロー・設備投資額・減価償却費・研究開発費



【キャッシュフロー】



【設備投資額・減価償却費・研究開発費】

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
設備投資額	4,011	5,532
減価償却費	3,902	3,944
研究開発費	1,270	1,211

※ 設備投資額はキャッシュベースです。

Index

- Section **01** 2026年3月期（2025年度）通期業績予想ハイライト
- Section **02** 2026年3月期 第2四半期 決算概要（2025年度中間期実績）
- Section **03** 2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）
- Section **04** トピックス（環境対応型製品）
- Section **05** 2026年3月期 第2四半期 決算補足

2026年3月期見通し



(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前年同期比
売上高	142,250	142,000	⊖ 0.2%
営業利益	6,888	6,000	⊖ 12.9%
経常利益	7,311	6,300	⊖ 13.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,066	4,800	⊖ 5.3%
自己資本利益率 (ROE)	5.2%	4.7%	⊖ 0.5ポイント
1株当たりの配当金 (予想)	80円 (年間)	80円 (年間)	—

	2025年3月期 実績	2026年3月期 見通し
ドバイ原油 (USD/BL)	78	70
為替レート (円/USD)	152	145
為替レート (円/EUR)	164	165

今後の見通し

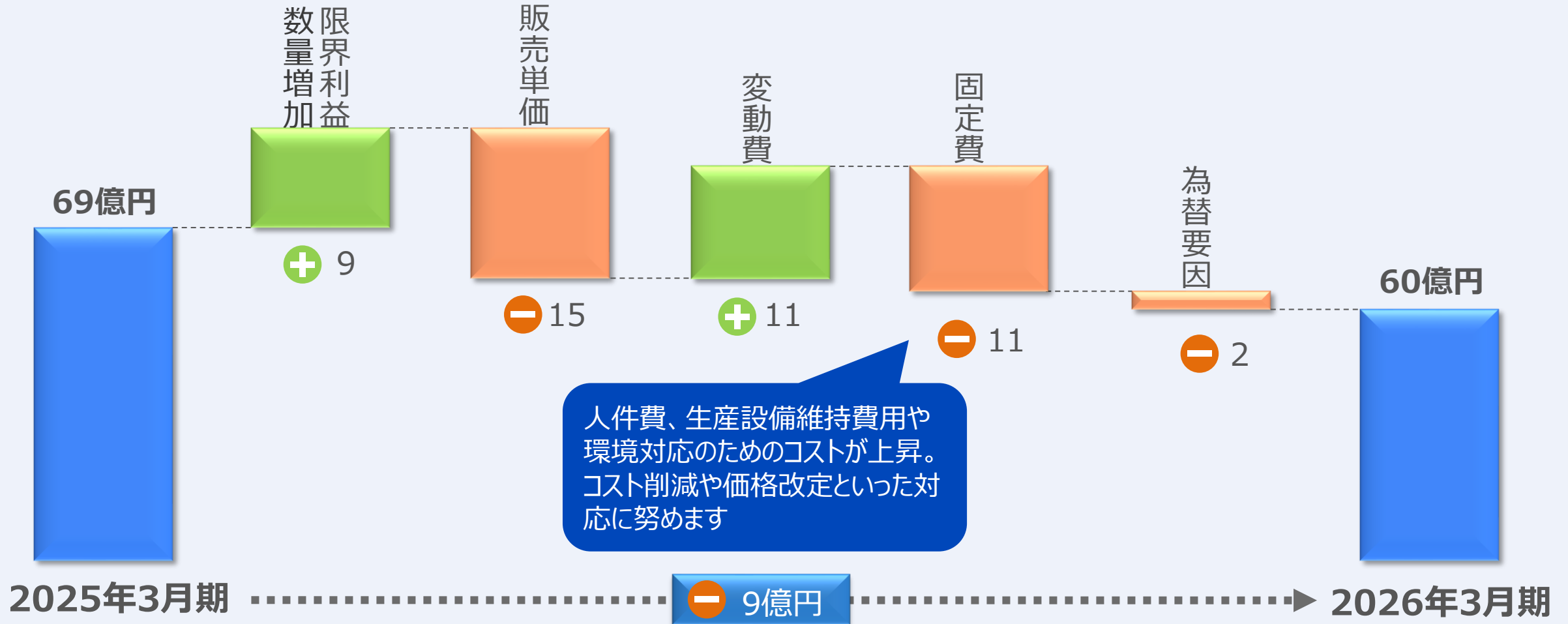
発泡ポリプロピレン「ARPRO」を中心とした北米の事業では、関税政策の適用などにより厳しい需要環境も、足元では回復の基調。中国および台湾では、バッテリー関連やAIサーバー向け包装材の需要が引き続き好調に推移。それに対し、国内、産業資材製品は需要低下の影響があり伸びが鈍化。今後も労務費や生産設備の維持費、環境対応コストなどの固定費上昇に対応するため、コスト削減の徹底と販売価格の適正化を通じて、収益力の強化に努めてまいります。

営業利益の増減要因

「ARPRO®」事業を中心とする販売数量の増加

限界利益は良化も、固定費の増加により営業利益は減少

(単位：億円)



人件費、生産設備維持費用や環境対応のためのコストが上昇。コスト削減や価格改定といった対応に努めます

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前年同期比
売上高	49,385	49,000	⊖ 0.8%
営業利益	1,645	1,500	⊖ 8.8%

- 押出事業の販売は、食品包材分野でのトレー向け重要な落ち込みにより減少も、付加価値の高い製品が好調推移することにより売上は前期並みの見込み
- 営業利益は、固定費増加の影響もあり減少

食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

- 食品トレー向けの販売が、国内物価高騰などによる、消費動向の変化により減少

産業用包装材



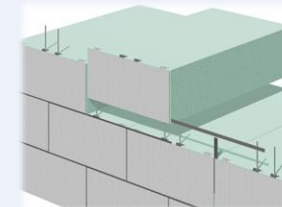
「ミラマット®」
「キャプロン®」
「Pボード」

- FPD向けミラマットエースは、販売先の在庫調整や生産プロセスの調整により、FPD市場の成長に比べて伸びが鈍化している状況

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

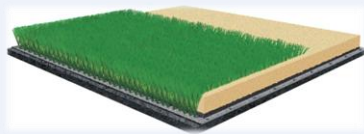
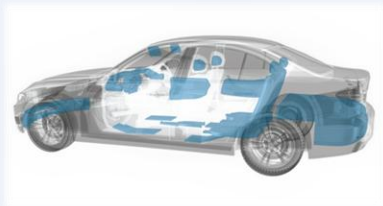
- 付加価値の高い製品であるミラフォーム®ラムダやプレカット品比率の増加により販売は堅調に推移

(単位：百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前年同期比
売上高	92,865	93,000	+ 0.1%
営業利益	6,373	5,500	- 13.7%

- 売上高は、主に「ARPRO®」を中心とした販売増加により前期並み
- 利益面は、関税動向などによる北米における自動車の一時的な生産調整や、新規車種の市場導入の遅れ、人件費の増加等により前期を下回る見込み

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材



「ARPRO®」
「エレンポール®NEO」
「COREDUAL®」

- 発泡ポリプロピレン「ARPRO®」は、自動車分野は北米における自動車の一時的な生産調整の影響を受けるも、足元では回復の基調。
- 非自動車分野の販売は、アジア地域での需要が好調に推移すると見込まれることから、全体としては販売の増加を見込む


発泡性ポリスチレン



「スチロダイア®」
「ヒートポール®GR」
「クリアポール®」

- 固定費の削減により事業体制の最適化を進めたことで収益性が高まる。原材料価格の低下もあり、利益水準は前年度から回復

中期経営計画の進捗状況

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期～
北米・南米	 <ul style="list-style-type: none"> ● 北米は通り函や競技用グラウンド基礎緩衝材などの非自動車分野が好調に推移。南米は自動車分野が好調 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 北米は、関税動向などによる自動車の一時的な生産調整や、新規車種の市場導入の遅れが影響 ● 南米は、販売先工場の暴風雨による罹災による影響はあるも好調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車分野は、2026年下期より新規車種の市場導入を順次予定しており、収益性の回復・向上に貢献する見込み ● メキシコ新工場の本格稼働、米国への設備投資により、上記の自動車分野の増産、非自動車分野の成長に対応
欧州	 <ul style="list-style-type: none"> ● HVAC需要の減少などにより販売数量が減少 ● 固定費の抑制等で計画並み 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 欧州市場の低迷などにより、自動車分野、HVAC分野共に需要回復が鈍く計画に未達 	<ul style="list-style-type: none"> ● HVAC分野の回復を見込むも、市場・需要の大きな回復には至らない見通し ● 成型メーカーとの間でDDEを用いて技術的連携を強化。優位性のある環境グレードの展開と合わせ、他社との差別化を進める
アジア	 <ul style="list-style-type: none"> ● 中国及び台湾において包装材分野が増加し好調に推移 	 <ul style="list-style-type: none"> ● 中国及び台湾における包装材分野の更なる拡販などにより販売数量を伸ばし、好調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国におけるバッテリー向け包材や、台湾における電子部品向け包材など、非自動車向けの拡販が引き続き好調に推移する見通し ● 現地生産を開始し拡販を進めるインド、韓国は固定費削減により収益性改善を進める
日本	 <ul style="list-style-type: none"> ● 一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響 ● 産業資材製品・土木分野向けの落ち込み 	 <ul style="list-style-type: none"> ● FPD向けミラマットエースは、販売先の在庫調整や生産プロセスの調整により計画に未達 ● 新規車種の市場導入遅れなどにより販売減少 	<ul style="list-style-type: none"> ● FPD分野は、FPD市場の成長に比べて伸びが鈍化。サプライチェーンにおける供給範囲の拡大に向けた取り組みを強化し拡販を目指す。 ● 非自動車向けの新モデル販売開始や、製造・販売共に最適化を進め、収益性を高める

※ ○：中期経営計画の利益目標に対し概ね計画通り ▲：中期経営計画の利益目標に対し未達

2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）



Index

- Section **01** 2026年3月期（2025年度）通期業績予想ハイライト
- Section **02** 2026年3月期 第2四半期 決算概要（2025年度中間期実績）
- Section **03** 2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）
- Section **04** トピックス（環境対応型製品）
- Section **05** 2026年3月期 第2四半期 決算補足

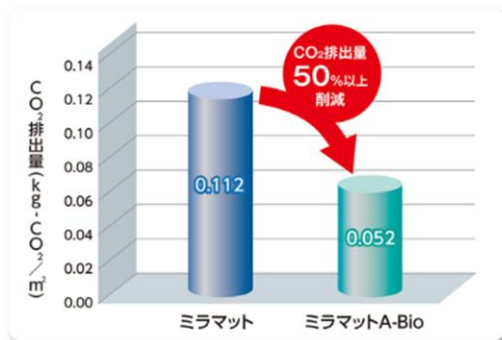
環境対応型製品が採用されています。

使用済み発泡トレーの再資源化を容易化する「ミラピール®」を(株)JSPパッケージングと共同開発。協力各社とサプライチェーンを連携させたケミカルリサイクルの循環モデルを構築し、イベントや学生食堂などでフィールド実証を行っています。



ミラマットA[®]-Bio

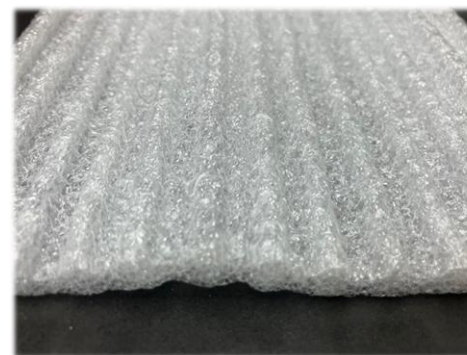
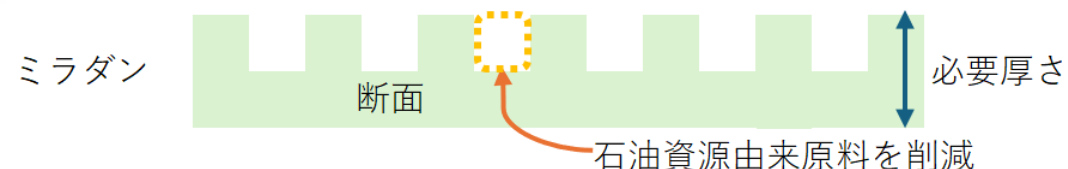
保冷バッグ用に、ミラマットA[®]-Bioの採用が増えております。従来使用されていた保冷バッグとの切り替えにより、石油資源由来原料の使用量の削減に貢献しております。



植物由来のバイオマスポリエチレンを25%配合し、JSP独自技術により従来のミラマット[®]に比べ同等な物性を維持しながらも約30%の樹脂量を削減した高発泡製品です。植物由来原料の配合と石油資源由来原料の削減により、従来品と比べ製品を作るまでに排出されるCO₂の量を大幅に削減することが可能です。

ミラダン[®]

緩衝材用途として、従来使用されていた製品に比べ、必要厚さを確保しつつ、構造的に石油資源由来原料使用量の削減に貢献可能な製品です。



ミラダン (バイオマスポリエチレン配合品※) 植物由来のバイオマスポリエチレンを10%配合し、強度、性能を維持したことにより、より環境負荷の小さい製品として採用されています。
※一部のグレードのみの展開

Index

- Section **01** 2026年3月期（2025年度）通期業績予想ハイライト
- Section **02** 2026年3月期 第2四半期 決算概要（2025年度中間期実績）
- Section **03** 2026年3月期 見通し（2025年度通期見通し）
- Section **04** トピックス（環境対応型製品）
- Section **05** 2026年3月期 第2四半期 決算補足

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
売上高	71,388	70,307
営業利益	3,204	3,076
経常利益	3,544	3,240
親会社株主に 帰属する 中間純利益	2,576	2,860
包括利益	8,652	475

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
1株当たり 中間純利益	98円33銭	109円15銭
売上高 営業利益率	4.5%	4.4%

【主要な日本円への換算レート（1～6月）】

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
円/USD	154.1	147.4
円/EUR	166.1	162.2
円/RMB	21.3	20.3

営業外損益・特別損益

(単位：百万円)

営業外損益	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
受取利息	298	228
為替差益	13	3
持分法による 投資利益	5	-
その他	202	170
営業外収益合計	520	402
支払利息	100	170
持分法による 投資損失	-	37
デリバティブ評価損	52	-
その他	27	30
営業外費用合計	180	238

特別損益	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
固定資産売却益	52	25
受取保険金	-	97
子会社における 送金詐欺回収益	8	-
退職給付制度改定益	-	394
特別利益合計	61	518
固定資産売却損	7	7
固定資産除却損	55	53
投資有価証券 評価損	-	1
特別損失合計	63	61

(単位：百万円)

2025年3月末

2025年9月末

増減額

【主要な日本円への換算レート】

	2025年3月末	2025年9月末	増減額
総資産	153,936	154,925	+989
純資産	105,855	105,246	△608
ネット有利子負債	6,686	11,555	+4,869
自己資本	101,035	100,534	△500
ネットD/Eレシオ	0.06	0.11	+0.05ポイント
自己資本比率	65.6%	64.9%	△0.7ポイント
1株当たり純資産	3,855円23銭	3,836円15銭	△19円8銭

2024年12月末

2025年6月末

	2024年12月末	2025年6月末
円/USD	158.1	144.8
円/EUR	164.9	169.6
円/RMB	21.7	20.2

貸借対照表



(単位：百万円)

		2025年3月末	2025年9月末	増減額
資産の部	流動資産	78,694	77,951	△743
	固定資産	75,241	76,974	+1,732
資産合計		153,936	154,925	+989
負債の部	流動負債	33,993	34,834	+841
	固定負債	14,087	14,843	+756
	負債合計	48,080	49,678	+1,597
純資産の部	株主資本	88,656	90,468	+1,811
	その他包括利益累計額	12,378	10,066	△2,312
	非支配株主持分	4,820	4,712	△107
	純資産合計	105,855	105,246	△608
負債純資産合計		153,936	154,925	+989

(単位：百万円)

		2025年3月末	2025年9月末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	-
	資本剰余金	13,405	13,405	-
	利益剰余金	72,492	74,304	+1,812
	自己株式	△7,370	△7,370	△0
	合計	88,656	90,468	+1,811
その他の包括利益累計額	その他有価証券評価差額金	496	576	79
	為替換算調整勘定	11,409	9,174	△2,234
	退職給付に係る調整累計額	472	315	△157
	合計	12,378	10,066	△2,312
非支配株主持分		4,820	4,712	△107
純資産合計		105,855	105,246	△608

＜予想に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Deliver with
WOW!

私たちは、真のグローバルサプライヤーとして、顧客と消費者に感動を、株主と地域社会に満足をお届けし、社員一人ひとりがワクワク感を持って仕事をすることで社会から必要とされる企業を目指してまいります。

